

4月4日(土)13:30~15:30 定例学習会議事録

会場／大友氏遺跡跡：南蛮 BVNGO 交流館研修棟

出席者※敬称略／若杉孝宏、牧達夫、佐藤弘俊、林壯一郎、藤田賢治、廣岡鎮也、大塚雄一郎、江藤孝文、植木直正、工藤大輝、尾下武彦、大嶋一任、塩月(一般)、計 13 名

① 近況報告(役員)

イ. 8年度会費納入状況／会報74号発送報告(若杉)

◎会費入金状況／4月4日朝現在、約半数の80数名、

◎総会5月20日開催の件／先日配布した委任状が25名弱、昨年とほぼ同じペースで届いている、NPO 法人の規定では全会員数の過半数を超えなければ総会は不成立。過去14年一度もない。

◎会報74号発送の件／▲メール送信約70名、▲ゆうメール＝角2封筒郵送約100名弱、@120＝12000円弱。郵送＝印刷費が別途5～6千円と手間延べ2日(自宅のふじが丘から中央郵便局へ)。できる限りメール登録してほしい。※登録時が溝部さんだった、これを若杉(南局)に切り替えるとややこしい手続きが必要、郊外居住の若杉の事務局作業は非常に非効率。

◎「おおいた共創基金」よりプロジェクター贈呈、初披露。今回の例会から大分県関係の公益財団法人から補助されたプロジェクターを使用、参加者は手元の細かな資料に目を落とさず発表者に集中、同時にスクリーンを見ることができ、その効果は想像通りだった。



ロ. 大河ドラマ推進協会長としての上期予定、8年度フォーラムのテーマ発表(牧)

◎2月に佐藤大分県知事ほか首長2名とNHKを訪問したが上期の近い期間に福岡県知事と一緒にいくため数回の打ち合わせが必要となる。

◎9月に宮城県の会員の大友直樹氏を訪問予定、義統の子孫と伝えられる東北の歴史を調査・取材する。全国に34000人の大友姓がいるが約7割が東北らしい。このことをNHKに訴え、大友氏のドラマが実現すれば視聴範囲は全国規模となることを知らしめたい。

◎11月のフォーラムメインテーマは「大友氏顕彰の歴史」。江戸時代から昭和60年代まで数々の顕彰の波があった。歴史的な人物や事柄を顕彰する場合、その「顕彰史、研究

史」を知ること重要である。一つの例として『大友氏の風景(13)』でも大正13年の宗麟従三位追贈を取り上げた。また2部では東北の大友姓の調査報告をする。

ハ. 宗麟公供養祭(5月23日)について (林臼杵支部長)

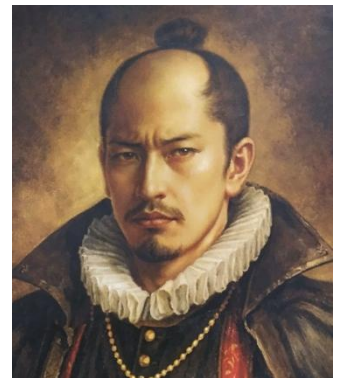
■案内チラシは後掲参照。

同時に4月2日に開催された「第2回臼杵桜まつり・カラオケ大会」の様相を紹介した。主催は大友氏顕彰会臼杵支部。若杉が理事長として出席あいさつした。なお、参加費から1万円を捻出、林支部長から寄付金として大友氏顕彰会にいただいた。イベント開催の事務方として運営された北島俊一会員共々ありがとうございました。大分から植木直正会員が出演、そのプロ並みと言っていい歌唱力に驚いた。



付随して、清田姫の墓を若杉理事長が紹介した。この墓を知っていたのは牧会長と大塚会員のみだった。ぜひ参加しましょう。後掲のチラシ参照。

- 二. 新しい大友宗麟画像／知人の画家がオリジナルの宗麟像を描く。現在は AI 利用で効率的に様々な年代の宗麟画像が可能。2030年まで宗麟の成長段階を画像表現し、PR に使用したい旨、その画像を参加者に発表した。



② ～真名野長者実在説に立ってみると～

源平合戦と義経・緒方惟栄

発表 大嶋 一任 氏

開口一番、『平家物語』にも登場している緒方三郎惟栄が日本史にほとんど登場しないのは何故か！？緒方惟栄に限らず豊後大分の歴史がほとんど無視されている！この疑問と憤懣をぶちまけた。まさにその通りで心の内で拍手を送った。若杉もかねがねこのことに不満を持ち、先人の大分県の歴史家、あるいは行政マンの文部省等中央官庁への働きかけの怠慢(言い過ぎは自覚しているが、県民性も影響か)ではないかとの想いを親しい仲間のみ話してきた。

60分の予定だったが20分オーバー、それでも足りなくて主催側として申し訳なかった。レジュメをいただいたのでそれをもとに会報75号か『大友氏の風景(14)』に掲載したいと思う。この議事録は字数が限られているのでレジュメの項目のみを記述する。



- 【1】 なぜNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に、緒方惟栄は登場しないのか、という奇妙さ不思議さ。テレビドラマだけではなく、歴史書などでも同様、登場しない。その中で参考にした書籍『源平の雄緒方三郎惟栄』渡辺澄夫著。『臼杵石仏』大久保貫之著。
- 【2】 それゆえ、頼朝と対立後、義経が豊後に向かおうとしたことが「隠され、多くの人は知らないままに。「義経、豊後に向かった」ことを聞くと、ビックリされます。豊後(大分県)を見直すキッカケになります。
- 【3】 どうしてこのようなことが起きているのか？
義経の豊後行きを「隠蔽」なそのままにする・否定する。



それ以前の「歴史」も隠蔽、謎にする・否定する。
(真名野長者の实在の隠蔽・否定)

- 【4】 私は【3】の逆を追及している。

- 【5】 源平に内乱(古代社会⇒封建社会への変革期)

1174年3月3日、義経が鞍馬山寺を脱出した。これを「金売り吉次、京都の商人」が支援、奥州へ。途中、鏡の宿(滋賀県竜王町鏡)に泊り元服。吉次は馬上に、義経は刀持ち乗馬の手綱持ちの下人に変装。(「平家物語」「烏帽子折」幸若舞など)。

以下、時系列で義経が頼朝と会い、源平合戦での活躍、その後頼朝から不信を買い、緒方惟栄の支援により豊後に逃れようとするが失敗した。奥州藤原氏を頼ったが結局藤原氏共々滅亡した。頼朝没後数十年経った1221年承久の乱で北条氏の天下に。その後三浦氏の台頭に危機を感じた北条氏は1247年、宝治合戦で三浦氏を滅ぼした。その後、三浦氏傍流は豊後国東の安岐へ、大友氏に仕えることになる。そのところまでを記述しているが、字数制限のためこの議事録では割愛させてもらった。

- ③ 昭和100年「心に刻まれた日本人ベスト10」

若杉を除き、原稿提出第1号は江藤孝文氏だった。10人に対する思いが強く、字数が定数よりも多くその分小さくなっているが、出稿数によっては少し大きくして読みやすくしたい。ただ寄稿者はデータ入稿とする旨再確認させていただいた。私一人で入力するには荷が重すぎるから。もし入力してくれる方がいれば手書き原稿でも受け付けたい。

大友宗麟公御遠忌法要並びに

宗麟公墓前供養祭について

大友宗麟公が天正 15(1587)年 5 月 23 日(西暦 6 月 28 日)に没してより 439 年の時が流れ今日に至っています。大友氏歴代当主と宗麟公を偲ぶとともに大友家を支えた家臣団に思いをはせながら取り組みます。(マスク着用は個々の判断に任せます)

なお、墓前祭終了後樹林寺に戻って昼食懇親会を開きますが、その前に諏訪の同地域内にある約 2 km 離れた地にある「清田姫の石祠※下の写真」を訪ねます。ほとんどの方はご存じないようなのでぜひご参加ください。

1. 法要名 宗麟公第 4 4 0 年御遠忌法要^{ごおんき}

① 日 時 令和 8 年 5 月 2 3 日 (土)

② 会 場 臼杵市諏訪紫野「樹林寺」

午前 1 0 時 0 0 分

追 記：樹林寺へのご芳志をお願い致します

主 催：大縁山樹林寺奉賛会

協 力：NPO 法人大友氏顕彰会

2. 墓前祭 宗麟公没後 4 3 9 年墓前祭

① 日 時 令和 8 年 5 月 2 3 日(土)

② 会 場 津久見市中田町宗麟墓地公園

午前 1 1 時 3 0 分

主 催：NPO 法人大友氏顕彰会

協 力：大縁山樹林寺奉賛会



3. 昼 食

墓前祭終了後、臼杵市諏訪「樹林寺」にて昼食懇親会を開きますのでお弁当が必要な方は 5 月 18 日までにご連絡を下さい。1,000 円(お茶込)です。

連絡先：大縁山樹林寺奉賛会 林 壯一郎

0 9 0 - 1 8 7 4 - 4 3 5 2

★都合のよい時間でご参加ください!